

令和7年度 教育事業

「ふくおかきっずアドベンチャーキャンプ～第3回フォレストキャンプ～」

報告書

- 1 趣 旨 福岡県内に住む小学校4～6年生の児童を対象に、各青少年教育施設での特色を生かしたプログラムの経験を通して、自尊感情や向上心、困難に立ち向かう心等を伸ばし、自律的に成長するための基礎を養います。
- 2 主 催 福岡県国公立青少年教育4施設連携協働事業実行委員会
(企画・運営：福岡県「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会)
国立夜須高原青少年自然の家 福岡県立社会教育総合センター
福岡県立英彦山青年の家 福岡県立少年自然の家「玄海の家」
- 3 主 管 福岡県立英彦山青年の家
- 4 期 日 令和7年10月11日(土)～12日(日) 泊2日
- 5 会 場 国立夜須高原青少年自然の家
〒838-0202 福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103
- 6 対 象 福岡県在住の小学生4～6年生24名
- 7 参加者 19名(小4：10名、小5：7名、小6：2名)
- 8 日 程 10月11日(土)
活動① 「ようこそ夜須高原の森へ(森林ハイキング・竹切り体験)」
活動② 「スタードームづくりに挑戦！」
活動③ 「豚汁定食づくり(野外炊飯)」
(宿泊場所：スタードーム)

10月12日(日)
活動④ 「『魔法のかまどごはん』づくり(野外炊飯)」
活動⑤ 「夜須高原の森に挑戦！ストレートハイク」

9 活動の実際



【ようこそ夜須高原の森へ】
(森林ハイキング)



【ようこそ夜須高原の森へ】
(竹切り体験)



【スタードームづくりに挑戦！】
(竹割り・材料の準備)



【スタードームづくりに挑戦！】
(星型へ編込み)



【スタードームづくりに挑戦！】
(ドームの組上げ)



【豚汁定食づくり】
(野外炊飯)



【魔法のかまどごはん」づくり】
(野外炊飯)



【夜須高原の森に挑戦！】
(ストレートハイク)



【ふりかえり(Being)】

10 感想

- すべて楽しかった。ドキドキやわくわくがいっぱいあって楽しかった。
- みんなで話し合って協力できてよかった。
- 班のめあてが達成できたと思う。
- 山に入ると竹を切るのが初めてで楽しかった。
- 体力をたくさん使ったけど乗り越えることができた。

11 成果

- 目標設定やふりかえりの場面では、これまで目標達成に向けて班で頑張れたことや、さらに頑張りたいことを共有する活動を行った。Beingを用いて班の目標や課題を共有することで、参加者はキャンプでの課題解決をとおして、自分に自信を持ち、班の仲を深めることができた。
- 「スタードームづくりに挑戦！」では、竹割りなどの材料の準備や竹の編込みや組上げなどの初めて行う活動に教え合いながら挑戦することで、班がチームとして機能する姿を見ることができた。
- ストレートハイクでは、コミュニケーションを図りながらゴールを目指し、急な斜面など一人では登れない場所も、自然と手を取り合うなど、協力し合う姿が多く見られた。

12 課題

- 参加者は第2回までのキャンプの振り返りから「時間を守ること」を意識していた。終わりの時刻が迫ってから急ぐ姿が多く見られたことから、時間の目安をスモールステップで示せるよう綿密な準備が必要である。
- チームの発達段階に応じた目標設定の高低および活動プログラムの強弱を促すこと、選択させる関わりや準備が必要である。
- 福岡県立3施設との共催事業として実施しているため、今後も事前・事後打合せ、4施設の連携・協働体制の在り方、事業の趣旨や段階的で連続性のあるプログラム内容の検討など、計画的・組織的に取り組む必要がある。